



京都部会(第6回)

日時: 2010年4月16日(金)18:00~20:00

場所: 同志社大学 光塩館

【内容要旨】

- (1) 第6回目の京都部会は5名の参加者で開催された。まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一代表者から、3月26日(金)に大阪で開催されたワークショップの報告と東京証券取引所との共催で開催予定の「先生のための夏休み経済教室」についての予告説明があった。
- (2) 引き続いて、3月20日(土)に日本大学で開催された経済教育シンポジウムにおけるテーマの1つであった「大学入試問題検討プロジェクト」についての報告と、それについての意見交換が行なわれた。たとえば、
- ① 良問と悪問を区別する基準を設けるほうが望ましい。
 - ② 良問のサンプルを作成。
 - ③ 消去法によって残ったものが正解になるような問題の作成は疑問。
 - ④ 予備校の教師は合格のテクニックを伝授することに重点を置くが、高校現場の教師は理解させることを重視するため、細かい内容を教える必要もある。そのため、難しい問題について、「解けなくてもよい!!」とは生徒に言えないジレンマを抱えている。
- (3) 最後に、倫理政経の単位変更によって、高校現場の教え方に混乱を引き起こす危惧が指摘された。

(文責:西村理)

次回開催予定: 未定